社会科・公民科教育法

クラス：M2A

学籍番号:16s21015

**コラム「愛国心を考える㊤」を読んで**

**コラムを読ませていただいてまず先に思ったことが、教える側の教育者が学ぶことに対してネガティブなイメージを発信しているのではないかということだった。**

**学びというものに子どもたちが何を期待しているかといえば、「受験の役に立つ」ということや、「ただなんとなく必要だから」という理由ではなく、おそらく「なぜそうなのか」という、ものごとの本質を知りたいという原初的な知識欲が原動力なのだと思う。本文にもあるように、今学んでいることの「意義が理解」できることが、意欲的に楽しんで学ぶ第一歩だと考える。**

**私の考えとして教育者が一番に行うべきことは、学ぶことに対してなぜ学ぶ必要があるのかということを心のそこから理解し、また学ぶことは楽しいことだと理解し、そして子どもに対して全身全霊でそれ伝えていくことだ。**

**中高生という時間は何事に対しても能動的に挑戦し、自分は何に興味があるのか、また何に興味が無いのかを探し、人生を通じて達成したいことを見つける時期である。もしそれができなければ、子どもが成績不振に陥るだけではなく、夢や希望を持たない子どもになってしまうだろう。**

**教育者自身が「学び」を楽しみ、そして学校教育を受験のための「勉強」から、子どもの可能性を広げる「学び」へと変えていきたいと私は考える。**